

日韓労働者の闘いを共有し、青年部運動を強化・発展させることを確認！

## 第13回日韓青年労働者交流を開催！



平和市場近くにあるチョン・テイル銅像前で



チョン・テイル銅像に献花



民主労総主催「労働者大会」に参加



西大門刑務所を見学

JR総連とJR総連青年協議会は、11月11日～14日にかけて、今回で13回目となる日韓青年労働者交流を韓国・ソウルで開催し、45名が参加した。

この交流は、1970年に「俺たちは機械ではない。労働基準法を守れ！」と訴え焼身自殺した労働者チョン・テイル氏の遺志を受け継ぎ、韓国のナショナルセンター・全国民主労働組合総連盟（民主労総・KCPU）が、チョン・テイル氏の命日近くに開催している全国労働者大会に連帯すると共に、日韓青年労働者の交流を図ることを目的として毎年実施している。

今年の主な課題は、韓国の鉄道に成果主義が導入されて安全が脅かされる問題とその闘いを学ぶことだった。

日韓両国ともに労働法や賃金制度の改悪が行われ、労働者を取り巻く状況が深刻化する中、次世代を担う青年活動家育成の重要性をあらためて認識する交流となった。



今年で13回目となる日韓青年労働者交流



参加者全員でファイト！



ストで闘うキム・ヨンフン韓国鉄道労組委員長が激励に